



学校だより

けみがわ



令和2年度第7号

千葉市立検見川小学校

TEL 043-273-8030

令和2年6月30日発行

## 「交流及び共同学習」

千葉市立検見川小学校長

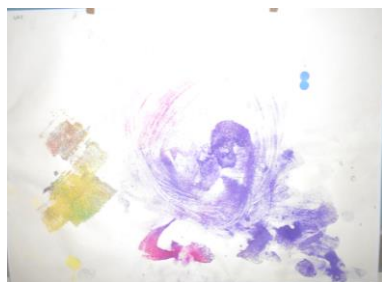
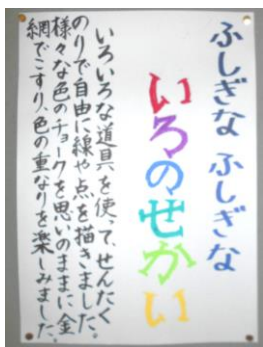
季節は、本格的な夏に向けて、蒸し暑い日が続くようになってきました。朝の登校また下校の時に、見守りや下校指導に協力してくださっている人たちに自分から気持ちのよいあいさつができた、元気に返してくれる子供たちが増えてきました。校門付近にいと、子供たちはもちろん、保護者の方々や地域の方々からも、いつもあいさつをいただき気持ちよく一日をスタートできます。6月25日(木)雨の日の朝、1年生の男の子が近くにきてくれて「おはようございます。今日、一人で来られた」と誇らしげに言いました。今までは保護者の方が、送ってきてくれた子でした。微笑ましく、可愛い挨拶でした。やはりあいさつは、「魔法の言葉」ですね。

### 【交流及び共同学習】

本校には、ご存じのように「まきのこ学級」という特別支援学級があります。17名の子供たちが、毎日元気に学習や運動を頑張っています。現在、まきのこ学級の廊下には、子供たちが自由に様々な色彩を使った素敵な「アート」が掲示してあります。みんなの個性・感性があふれた素敵なアート作品です。もし機会があれば是非ご覧ください。

本校では、まきのこの子供たちが、それぞれの交流学級について一緒に学習に取り組む「交流及び共同学習」の充実を目指しています。以前は「交流学習」と呼ばれていましたが、平成19年に特殊教育から特別支援教育になり、特別支援学級の児童と通常学級の児童がお互いを尊重し、学び合うことや教科・行事等のねらいを達成するという目的で「交流及び共同学習」がスタートしました。

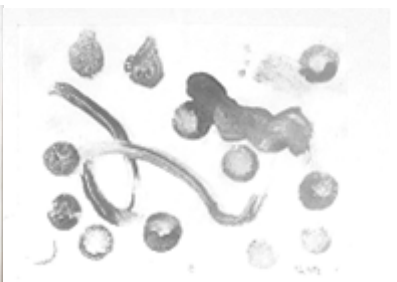
昨年度、本校の子供たちは、運動会の種目と一緒にいたり、まきのこの子供たちが各クラスにダンス教え、集会時、全校で踊ったり、共に心を通わせ、笑顔で共同学習を深めてくれました。職員も連携し、指導・支援に努めました。それぞれの個性を認め、良いところを伸ばし、弱いところを補いながら学習・生活することは、大切なことです。本校の子供たちが「交流及び共同学習」等を通して、優しい気持ちを育み、分け隔てのないインクルーシブ社会の一翼を担える大人に成長することを願います。



「ぐるぐる」



「にじいろのりゅう」



「風」